

製品安全データシート

CG-952

作成 : 2009/2/25
改訂 : 2021/11/15

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称
会社名 CHEMBRIDGE INTERNATIONAL CORP.
住所 9F-1, No.239, Sec.1, Dantong Rd. Xizhi District, New Taipei City, Taiwan
担当部署
担当者(作成者)
電話番号 +886-2-26496320
FAX番号 +886-2-26496319
メールアドレス
緊急連絡先番号

販売代理店 サンケミカル株式会社
住所 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号 03-3661-6681
FAX 03-3661-7055
メールアドレス yano@sun-chemical.co.jp
HP <http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意

難燃剤

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類
Classification according to Regulation (EC) No. 1272/2008 [EU-GHS/CLP]
オリジナルのSDSの記載

物理化学的危険性:

健康に対する有害性:

皮膚腐食性・刺激性 区分3
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 区分2B

環境に対する有害性:

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル なし

● 注意喚起語 なし

● 危険有害性情報

危険有害性情報本製品は、分類基準に該当しない。

H316 皮膚に刺激がある
H320 目に刺激がある
P264 取り扱い後に手をよく洗う

● 注意書き

【安全対策】
安全対策産業衛生に気を配る。

【応急措置】
皮膚を水で十分に洗い流す。

【保管】
保管密閉容器に保管すること。

【廃棄】
廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。

トリメチロールプロパン(TMP)のサプライヤーは、この化学物質を生殖毒性の疑いがあると分類しています。
この分類の基礎となる利用可能な毒物学データは検討中であるため、生殖毒性分類は変更される可能性があります。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

慣用名・別名

化学物質を特定できる一般的な番号

CAS番号

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

GHS分類に寄与する成分

成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量(%)	備考
3, 3', 4, 4' 5, 5' 6, 6' -オ クタブロモ-N, N' -エチレンジ フタルイミド	32588-76-4	5-5550	8-1-1714	100	

▲ 項目4 応急処置

吸入した場合 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11－有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護	指定された個人保護具を使用すること。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。
毒劇物の場合、解毒剤	非該当

項目5 火災時の措置

消火剤	水噴霧、耐アルコール泡、乾燥粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。

火災時の措置に関する特有の危険有害性	臭化水素、酸化臭素、一酸化炭素、二酸化炭素 シアン化水素、酸化窒素
--------------------	--------------------------------------

特有の消火方法

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具を着用すること。 必要であれば、呼吸器の保護具を着用すること。
---------------------	--

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 十分換気されているか確認すること。指定された個人保護具を使用すること。人員を安全な区域に退避させること。

環境に対する注意事項 8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
地上水又は下水施設に流さないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
廃棄するためにすくい取り、適切な容器に収容すること。
ダストの発生をふせぐこと。

二次災害の防止策

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気)

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。シャワー、洗眼所、換気
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項

十分換気されているか確認すること。皮膚および眼との接触を避ける。粉じんの発生を
けること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。産業衛生安全対策規範に従っ
り扱うこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。
汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。汚染された作業衣は竹
場から出さないこと。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

容器は密閉すること。汚染された衣類は直ぐに脱ぐこと。
廃棄物を下水に流さないこと。

保管

安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

近づけてはいけないもの

安全な保管保管包装材料

元の容器

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会(2005年版) 未設定
ACGIH(2005年) 未設定

設備対策

シャワー、洗眼所、換気
製品が排水路に入らないようにすること。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下ではない。労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合に、
認証を受けた適切な呼吸用保護具を必ず使用しなければならない。

手の保護具

適切な手袋を着用する: 不浸透性手袋。取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこ

眼の保護具

サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

特別な保護具は必要とされない。

特別な注意事項

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状态	粉状
色	白色
臭い	無し
融点・凝固点	450-460°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データ無し
可燃性	データ無し
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データ無し
引火点	データ無し
自然発火点	データ無し
分解温度	データ無し
pH	データ無し
動粘性率	データ無し
溶解度	データ無し
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	データ無し
蒸気圧	データ無し
密度及び/又は相対密度	データ無し
相対ガス密度	データ無し
粒子特性	データ無し
その他のデータ	データ無し

● 項目10 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性	通常は安定。
危険有害反応可能性	270°C以上で湿気
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	火、熱源、
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物 その他	臭化水素、酸化臭素、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素、シアン化水素

★ 項目11 有害情報

オリジナルのSDSの記載

急性毒性

曝露経路	基準	方法	値	曝露時間	被検体	雌雄	値の決定
経口	LD50		> 2000mg/kg				
経皮	LD50		> 5000mg/kg				

皮膚腐食性/皮膚刺激性
データ無し

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
データ無し

呼吸器感作性又は皮膚感作性
データ無し

生殖細胞変異原性
データ無し

発がん性
データ無し

生殖毒性
データ無し

特定標的臓器毒性、単回曝露
データ無し

特定標的臓器毒性、反復曝露
データ無し

誤嚥有害性
その他

項目12 環境毒性情報
生態毒性
オリジナルのSDSの記載

化学名 藻類／水生植物 魚類 甲殻類
データ無し

生態蓄積性
データ無し

土壤中の移動性
データ無し

オゾン層への有害性
データ無し

他の有害影響

▲ 項目13 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

空の容器は、認可を受けた廃棄物取り扱施設に搬入して再利用または廃棄しなければならない。

項目14 輸送上の注意

国際規制
国連番号 非該当
品名(国連輸送名) 非該当

国連分類 非該当
(輸送における危険有害性クラス)

容器等級 非該当
海洋汚染物質 非該当
(該当・非該当)

MARPOL73/78附属書II及び
IBCコードによるばら積み輸送される液体物質 非該当
(該当・非該当)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

その他
応急措置指針番号

非該当

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化管法	非該当
安衛法	
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	該当なし
消防法	非該当
化審法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
パーゼル法	非該当
外為法	非該当
	キャッチオール規制
港則法	

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実用性を対象としたものではありません。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色分け	2019年改正JIS Z7252/Z7253		(但し、ラベルに全て載せる必要はない)